

秋厚労ニュース

NO1822号

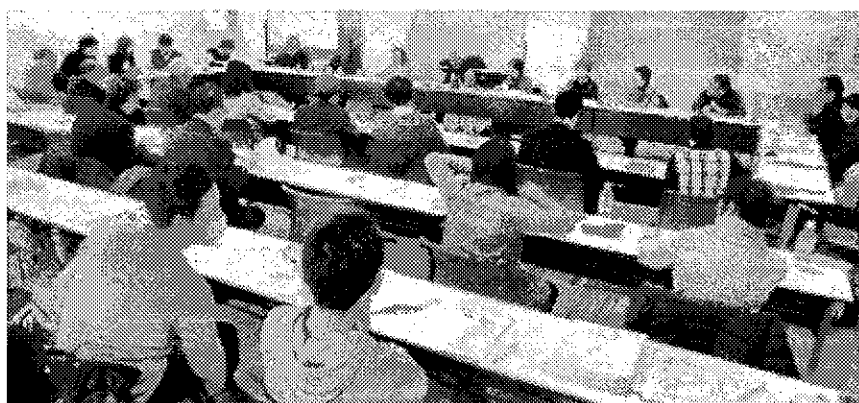
2018年2月5日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

住民が

地域を論じ合う

鹿角地域調査 中間検討会

去る1月27日、鹿角市・コモッセにおいて「地域調査の中間検討会」が行われ、31人が参加。様々な立場の人が地域の課題を共有し、ともに解決策を考え、真剣に論じ合いました。



ポイントは食運動医療交通人のつながり生活基盤
「鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会」は、2016年(平成28年)6月から、2回目の地域調査に取り組んでいます。これまで、「短命から長寿へ」を最大の課題と位置づけ、6つのポイント(食・運動・医療・交通・人のつながり・生活基盤)について課題や可能性などを整理。この度、それを基に「どのような地域をつくるか」について、誰でも参加できる形での「検討会」を開催しました。

当日は「調査でお話を聴いた人」を始め、研究者(横山・長友教授)・行政関係者・弁護士・歯科医師・議員なども含む住民31人が参加。由利支部や茨原労の仲間も駆けつけました。

住民による人口問題への挑戦

冒頭、「市民町民の会・幹事会」が「これまでの調査でわかったこと」と「これからさらに調べてみたいこと」を報告。参加者全員がその感想を述べあい、討論へと発展しました。特徴

地域見る視野広がる

冒頭、「市民町民の会・幹事会」が「これまでの調査でわかったこと」と「これからさらに調べてみたいこと」を報告。参加者全員がその感想を述べあい、討論へと発展しました。特徴

全国的な地域でも同じような「課題」はあるはず。しかし、鹿角では、住民自ら地域を歩いてそれを実感し、住民の力で解決策を論じ合っていることが驚くべきところだ。

2つの住民の会

今後の調査の進め方に関する論議では、①6つのポイントにまたがる「複合的な調査」を検討すること、②男性も健康意識が高まるような工夫をすることなど、奥行き深い意見が数多く出されました。ただし、会場の都合で時間が限られており、「もう少し話し合いたかった」ところで検討会は終了となりました。

「市民町民の会」は、今回

お産ができる鹿角を望む住民集会

2018年(平成30年) 3月4日(日) 10:00 ~ 12:00

鹿角市・文化の杜交流館「コモッセ」

言えます。「中間検討会」には「鹿角の産婦人科を守る会」の主要メンバーも複数参加。今までも一緒に運動してきましたが、地域に関する熱の入った今回の話し合いが媒介して、2つの「住民の会」の距離がより縮まった観がありました。ちなみに、2つの「住民の会」は、力を合わせて、来る3月4日に「お産ができる鹿角を望む住民集会」を開催することになっています。

ポイント
食運動医療交通人のつながり生活基盤